

# 3/ 23

(日)

## 神のことばを悟る

ルカによる福音書二〇章九〜二〇節

その時、律法学者たちと祭司長たちは、イエスが自分たちに当てつけてこのたとえを話されたと気付いたので、イエスを捕らえようとしたが、民衆を恐れた。(19)

イエスが語られた譬え話で、主人が遣わす僕や跡取り息子を殺してしまう農夫たちの姿は、神に遣わされた預言者たちを殺し、ついには御子キリストをも殺そうとしている自分たちの姿を指していることを律法学者たちは気付きました。神の言葉を聞くということは、彼らがそうしたように、それを自分に向けて語られた言葉として聞くことです。それが聖書が分かるということです。そのとき、私たち自身が鋭く問われます。この神の言葉にあなたはどうか答えるかと。律法学者たちはこのとき、イエスを捕らえようと計画します。自分たちの罪を暴くイエスは抹殺するしかなかったのです。私たちは神の言葉にどう答えているでしょうか。同じように神の言葉を聞くと葬り去ってはいないでしょうか。私たちの真実を照らし出す神の言葉は、私たちを悔い改めの恵みへと招いているのです。